

# 令和6年度 健康こども部運営方針

部局名 : 健康こども部

部局長名 : 藤原 弥栄

## 基本方針（政策目標）

少子化の進展や多様化する子育てを取り巻く課題や環境に対応するため、子育て世帯への経済的支援や相談体制、安心してこどもを預けることのできるサービスなど、妊娠期から出産・子育て期にわたり、家庭の状況に応じた切れ目ない支援の充実を図り、こどもを安心して生み育てやすい環境づくりを推進します。

また、「健康づくり推進条例」の基本理念に基づき、市民一人ひとりが主体的に食育や健康づくりを実践し、QOL(生活の質)の向上を図ることができるよう、課題解決のための多様な選択肢づくりを官民連携・市民共創で取り組むとともに、「未病予防対策先進都市」をめざし、それらの取組や情報を2025年「大阪・関西万博」で発信することで、市民の気運醸成を図ります。

### ① 第3期いずみおおつ子ども未来プランを策定

こども大綱をふまえ、少子化や核家族化、こどもの貧困などの様々な社会課題に対応するこども施策を総合的に推進するため、子育て世帯やこどもたちのニーズ、意見を取り入れた「第三期いずみおおつ子ども未来プラン」を策定します。

### ② フードリボンプロジェクトの推進

官民連携市民共創型の飲食店による新たなこども食堂の仕組みを実現する「フードリボンプロジェクト」の取組を市内に広げることにより、こどもたちへの食事の提供機会を増やし、こどもの居場所づくりを推進します。

### ③ 子育てサークル活動支援補助金を新設

地域における仲間づくりや情報交換を行う子育てサークルの活動に対する運営補助金を創設し、新たな子育てサークルの広がりをサポートし、安心して子育てできる環境づくりを推進します。

#### ④ こども家庭すこやかセンターを設置

母子保健機能と児童福祉機能を一体化した「こども家庭すこやかセンター」を設置し、妊娠期から子育て期にわたり、家庭の状況に応じた切れ目ない支援の充実・強化を図ります。

#### ⑤ 市独自の子育て支援を充実

市独自事業の、専門職による家庭訪問と育児用品等を購入できる5万円相当のポイントを支給する「にこにこベビー訪問（7か月児訪問）」や栄養価の高いお米を毎月10kg、妊婦へ提供する「マタニティ応援プロジェクト」に加え、子育て世帯を対象にヘルパーなどが家庭訪問し、家事・育児支援を行う事業を新たに開始し、出産・子育てに対する支援の充実を図ります。

#### ⑥ 施設再編、認定こども園化による教育保育環境を充実

「泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画」に基づき、施設再編と認定こども園化を進め、教育・保育環境の充実を図ります。条南小学校区については、旧条南幼稚園跡地で民間認定こども園の新園舎建設を進め、受入れ園児数を拡大し令和8年4月の開園をめざします。また第2期（令和7年～11年）に位置付けている浜小学校区の再編については、東港公園内での民間認定こども園整備を進め、令和8年4月の開園をめざします。

#### ⑦ 病児保育をスタート

令和6年度、市立えびす認定こども園において、病児保育を新たに実施し、保護者の子育てと就労の両立、児童の健全な育成を支援します。

#### ⑧ 給食食材のオーガニック化など食育活動を充実

就学前施設の給食食材のオーガニック化を進めるとともに、食についての豊富な知識と実績を持つ食育アドバイザーによる給食レシピの監修やおやつのご案内、保護者向け講座の開催など食育活動を充実し、こどもの食べる力（＝生きる力）を育み、こどもの健全な体づくりをめざします。

#### ⑨ シーパsparkを拠点に「健康ラボ」をスタート

シーパsparkを新たな健康づくりの発信拠点とし、「測る・学ぶ・相談する」を実践し、健康増進や未病予防対策を主体的に取り組める環境づくりとして「健康ラボ」をスタートします。

「測る」…アプリを活用した健康測定

「学ぶ」…免疫力、未病改善、食育などをテーマにした体験型ワークショップの開催

「相談する」…伝統医学に精通した医師による未病相談

#### ⑩ ライフコースアプローチ(※)を見据えた食育の普及、促進

農園での野菜づくりや収穫体験、SDGsの視点を取り入れた調理実習など「わくわく食育体験」をはじめとする、食の体験を通じた学びを官民連携で取り組みます。また、食は生きる上での基本であり、からだづくりの基本であることから、妊娠期(胎児期)から、将来の疾病リスクを見据えた食育のアプローチに取り組みます。

※ライフコースアプローチ：胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり

#### ⑪ 「あしゆびプロジェクト」を強化&大阪関西万博で発信

平成30年度からライフステージに応じて官民連携・市民共創により取組を始めた「あしゆびプロジェクト」を中心とする健康づくりを、本市独自の取組として強化し、市民の健康行動の促進、気運の醸成を図ります。また、2025年「大阪関西万博」において発信し、「未病予防対策先進都市」として、PRに取り組みます。

#### ⑫ アプリを活用した健康づくり

市民が主体的に、楽しく健康活動に取り組めるよう、おおさか健活マイレージ「アスマイル」や令和5年度から開始した「いづみおおつマイ・レコ」アプリを活用した健康づくりを継続して取り組みます。

#### ⑬ 市独自の新型コロナ・ワクチン等副反応対策を実施

新型コロナ感染後遺症者及びワクチン接種後の副反応対策について、オンライン相談、コロナ・ワクチン後遺症改善プログラム、ワクチン接種後の健康被害支援金など、市独自の対策を継続して行います。また、秋以降に高齢者対象にワクチン接種が開始されるため、使用される新しいワクチンの情報などについて、市民を中心に勉強会を開催します。